2022年度 事業報告書

学校法人名　　学校法人　国際文化アカデミー

学校法人所在地　　東京都豊島区巣鴨3丁目2番12号

2022 年度　学校運営報告

学校法人　国際文化アカデミー

１．総　括

今年度につきましては、教育環境においてコロナウィルス感染症の影響はあったものの、政府の感染対策緩和を受け、学校行事の制限をできる限り減少させ充実した教育成果を目標に学校運営に努めました。また、ツーリズム産業の回復の兆しが見え、一部企業・業種では人材不足が顕著となり当校への求人募集も回復の度合いが増しました。このような状況の中、2 年生の進路につきましては、JTB グループによる当校の卒業生に対する採用の継続並びにツーリズム産業界内外から順調な求人募集を得た結果、今年度の就職希望者の内定率は 100％を達成いたしました。しかしながら、23 年度新入生確保については引き続き状況は厳しく、昨年以上に大幅に定員を下回りました。この要因についてはツーリズム産業の将来に対する不安感もさることながら、このコロナ禍における高校生期間に、ツーリズム産業との関りや実体験が極端に減少したことにより、当該産業への就職志望の醸成がされにくかったものと考えています。これを踏まえツーリズム産業の仕事のやりがいと将来性並びに当校の魅力と価値を高校生にダイレクトに訴求する広報が重要施策と捉えています。

経営計画につきましては、まず何より学生の確保を最重要課題と位置づけ、募集環境の変化が引き続き不透明な事態を鑑み単年度計画といたしました。次年度計画は「選ばれる専門学校への進化」を掲げ、当校教職員が一丸となって募集から進路指導までマルチタスクで取り組むこととし、当校の新たな価値創造に向け取り組む起点の年としたいと存じます。

なお、23 年度の重要経営課題は、

① 早期定員の確保
② ツーリズム人材の育成と輩出
③ 少人数による組織体制の構築
④ 安定経営に向けた新たな収益源の創出

と設定し、課題解決に向けて取り組みを継続してまいります。

収支状況に関しましては、学生数の大幅な減少を踏まえ、教育活動収支は 269 百万円の支出超過の当初予算編成といたしました。結果、継続して実施しました教職員の報酬削減に伴う人件費の着実な削減、研修費、その他経費の低減により、当初予算に対し 30 百万円良化、補正予算に対して 11 百万円良化の決算となりました。

次年度の教育活動収支につきましては、引き続き学生数の定員割れがさらに拡大し、大幅な支出超過が見込まれることから、教育内容及び教育環境の維持向上に必要な支出は確保しつつ、要員の更なる削減及び一時的な給与・報酬の減額策を継続し、あらゆる管理経費の見直しによる経費削減を図り支出超過の縮減に努めます。

２．教務・学生指導関連

教務・学生指導につきましては、「新型コロナウィルス感染症　予防ガイドライン」をもとに対策を講じたうえでウィズコロナを意識した対面授業を実施しました。登校を控えざるを得ない場合は、体調に応じてオンライン参加での受講、いわゆる「ハイブリッド型授業」を実施する体制、スキルを確立しました。またオンラインの利便性を活用した遠方地と繋いだ授業を展開するなど、新たなコミュニケーション手法が確立できました。

重点課題といたしましては、以下の 2 点に取り組んでまいりました。

① ICT 教育の拡充と効果的な学習指導の確立

・業界実務だけに留まらず、多様化する求人像に応えるため「国際観光ビジネス科（昼間部・夜間部）」にて IT パスポート授業の必須化、OA 検定表計算３級授業を新設し、拡充を図りました。

② 新たなツーリズム産業に求められる知識・人間力向上に資するカリキュラム展開

・変化し続けるツーリズム産業を知るため、「ツーリズム基礎」「ツーリズムマネジメント」のシリーズ化、連動した「クローズアップ（ネクストステージ）」を実施しました。ツーリズム産業の領域の広さと学生の視野拡大に繋げました。

今後も環境に合わせた授業内容に刷新を続けてまいります。

・「データマーケティング講座」では題材をケーススタディから協力企業の実データへ切り替え、実践的な課題解決に挑戦してまいりました。また（一社）ビックデータマーケティング教育推進協会主催の成果発表会にも参加し、9 チーム中優勝いたしました。今後も課題探求とデジタル活用ができる観光人材の輩出を目指して、カリキュラムの刷新を図ると共に、様々な外部公募にチャレンジしてまいります。

具体的な取組内容、成果については以下のとおりです。

(1) 学生動向について

今年度は新 1 年生 44 名（昨年 98 名）を迎え、学生総数 134 名（昨年 304 名）でスタートしました。期中における退学者は 11 名で、休学・復学・留年の出入りを含め、次年度の新 2 年生は 35 名となりました。

学生の在籍者推移は【表１】、また学科別の在籍者推移は【表 2】のとおりです。

退学の理由としては本人の進路変更などが多く、生活環境の大きな変化による心身ケアも今後の課題として取り組み強化してまいります。

【表１】学生在籍者推移　［単位：人］

	2022年度	1年生	2年生	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
期首在籍数 （復学者）	134 (1)	44 (0)	90 (1)	304 (8)	449 (10)	466 (12)	456 (6)
退 学 者	11	8	3	7	33	36	35
期中休学	0	0	0	1	4	2	4
期中復学	0	0	0	1	1	0	0
期末在籍数	123	36	87	297	413	428	417
退 学 率	8.2%	18.2%	3.3%	2.3%	7.3%	7.7%	7.7%

【表2】学科別・学生在籍者数推移［期首］　［単位：人］

	2022年度	1年生	2年生	2021年度	1年生	2年生	2020年度	1年生	2年生
国際観光ビジネス科	95	20	75	211	82	129	283	141	142
訪　日　科	17	6	11	49	12	37	84	43	41
国際ホテル&ブライダル科	15	11	4	31	4	27	49	27	22
夜　間　部	7	7	0	13	0	13	33	15	18
期首在籍数	134	44	90	304	98	206	449	226	223

(2) 旅行業務取扱管理者資格の取得について　【表 3】【表 4】

国内旅行業務取扱管理者試験合格者数（以下、国内）20 名、うち 1 年生全科目合格者は 12 名となりました。合格率は 66.7%（全国平均 32.9%＋33.8 ポイント）で、目標の 70%には到達しませんでしたが、個々人に合わせた個別対策指導により昨年度を大きく上回り健闘いたしました。

総合旅行業務取扱管理者試験合格者数（以下、総合）19 名、うち 1 年生合格者は 9 名、合格率 47.4%（全国平均 13.5%＋33.9 ポイント）となり、目標の 40%を達成いたしました。達成は 5 年振りとなります。科目によっては難題傾向も見受けられるため、次年度に向けて振り返りを図りながら、合格率継続を目指します。

【表3】総合旅行業務取扱管理者資格 試験結果　［単位：人］

区分		2022年度				2021年度				2020年度			
		合格者	前年増減	合格率	受験者	合格者	前年増減	合格率	受験者	合格者	前々年増減	合格率	受験者
全科目	観光科1年	9	▲9	47.4%	19	18	▲30	22.8%	79	48	▲22	35.8%	134
	全国結果	278	103	13.5%	2,064	175	▲581	6.2%	2,819	756	261	18.5%	4,086
他	他 1年生	1	1	20.0%	5	0	▲ 3	0.0%	1	5	3	33.3%	15
	2年生他	9	▲ 2	31.0%	29	11	▲ 33	26.2%	42	61	44	47.7%	128
JTC 計		19	▲10	35.8%	53	29	▲85	23.8%	122	114	25	41.2%	277
(ウチ留学生)		(0)	(＋0)			(0)	(▲2)			(2)	(▲4)		

【表4】国内旅行業務取扱管理者資格 試験結果

区分		2022年度				2021年度				2020年度			
		合格者	前年増減	合格率	受験者	合格者	前年増減	合格率	受験者	合格者	前年増減	合格率	受験者
全科目	観光科1年	12	▲39	66.7%	18	51	▲14	63.0%	81	65	▲51	49.6%	131
	全国結果	2,742	▲1,313	32.9%	8,343	4,055	▲36	40.9%	9,910	4,091	▲1,031	35.8%	11,424
他	他 1年生	3	2	60.0%	5	1	▲ 6	20.0%	5	7	▲ 3	50.0%	14
	2年生	5	0	29.4%	17	5	▲ 2	10.6%	47	7	▲ 1	17.5%	40
JTC 計		20	▲37	50.0%	40	57	▲22	42.9%	133	79	▲55	42.7%	185
(ウチ留学生)		(2)	(▲3)			(5)	(＋1)			(4)	(▲5)		

(3) その他、各種資格の取得について

各種検定試験の受験による資格取得を奨励しており、今年度の合格状況は【表 5】のとおりです。

4 年目受験を迎えた国家資格「ホテルマネジメント技能検定」3 級につきましては、受験者 4 名に対し今年度は残念ながら合格者を輩出することができず、目標 50%は達成できませんでした。（2021 年度 8 名 67%）

記載以外では、「おもてなし検定」3 級に 3 名（うち留学生 1 名）、日本添乗サービス協会主催「インバウンド検定」に 9 名（うち留学生 7 名）、TOEIC では累計 57

名受験中、650 点以上が５名という結果を残しております。

【表5】各種検定試験 合格者推移 ［単位:人］

資　　格	2022 年度	増減	2021 年度	増減	2020 年度	増減
旅行地理検定日本上級	1	0	1	1	0	―
旅行地理検定日本中級	2	▲ 21	23	3	20	―
旅行地理検定世界上級	1	▲ 1	2	1	1	―
旅行地理検定世界中級	1	▲ 4	5	1	4	―
ビジネス能力検定2級	11	11	0	0	0	0
ビジネス能力検定3級	13	8	5	▲ 24	29	▲ 24
パソコン検定2級	12	▲ 15	27	13	14	▲ 4
パソコン検定1級	2	0	2	1	1	▲ 2
世界遺産検定2級	6	▲ 6	12	▲ 6	18	2
実用英語技能検定準1級	0	▲ 1	1	1	0	0
実用英語技能検定2級	2	▲ 5	7	2	5	▲ 2
秘書検定2級	4	▲ 5	9	▲ 3	12	2
秘書検定準1級	1	1	0	0	0	0
ホテルマネジメント技能検定3級	0	▲ 8	8	1	7	1
レストランサービス技能検定3級	3	▲ 13	16	0	16	0
ブライダルコーディネート技能検	3	▲ 13	16	8	8	6
旅のユニバーサルデザインアドバイザー	18	▲ 53	71	▲ 45	116	―

（4）実習・研修プログラムの実施状況について【表６】

校内での講義以外に、基礎的な旅行・観光関連実務の体得を目的とした学外実習や研修を、学科別にカリキュラムに織り込み、効果的な専門能力の養成に努めております。

今年度も、WITH コロナが継続する中で、海外研修は実施が叶いませんでしたが、本来科別で行っている研修を合同で沖縄にて実施しました。学年、学科を超えたコミュニケーションの機会創出に繋がりました。

訪日科においても 1.2 年合同の研修を実施し、現地を体験するだけではなく、施設で働く卒業生とも懇談し、就職・就活に向けて視野を広げる機会となりました。

また、入学前より人気のある当校ならではの海外支店実習は、学内選抜 6 名（例年 20 名）をオーストラリア、ハワイ、台湾、インドネシアの 4 方面で海外支店とつなぐオンライン就業体験として実施しました。

次年度は海外旅行復活年にあたり、実施時期、方面等を再考し、海外研修、実習を実施できるよう検討してまいります。

【表6】学科別 実習・研修実施状況

学科	対象	種別	内　容	実施時期	備　　考
国際観光ビジネス科	1年	必修	① 校外学習	11月	羽田空港見学
	1年	必修	② 国内研修旅行	11月	沖縄2泊3日
	1年	選抜	③ 海外支店実習	2～3月	中止、オンライン就業体験5日間実施
	2年	必修	④ 国内支店実習	7～8月	店舗5日間（例年3週間）＋他ホテル、内定先にて実施
	2年	必修	⑤ 海外研修旅行	12月	中止　海外オンラインツアー・沖縄2泊3日実施
訪日科	1年	選択	① 国内研修旅行	11月	草津1泊2日研修（1，2年生合同）
	1年	必修	② 校外学習	11月	鎌倉日帰り研修
	2年	選択	③ 国内研修旅行	12月	草津1泊2日研修（1，2年生合同）
ブライダル科 国際ホテル＆	1年	必修	① 国内ホテル見学	7月	横浜1泊2日研修（1，2年生合同）
				2月	帝国ホテル1泊2日
	1年	必修	② 国内ホテル実習	夏期	首都圏近郊6施設にて実施
				冬期	2施設にて実施（軽井沢、湯河原・伊豆）
	2年	必修	③ 海外研修旅行	11月	中止　沖縄2泊3日（観光科1,2年合同）
夜間部	2年	必修	デュアル実習	年間	JTBビジネストランスフォーム、JTBグローバルアシスタンス

（5）特別講師による授業の実施状況について【表 7】【表 8】

職業意識の醸成を目的として 1 年生を対象とした「クローズアップ（業界・企業）」、変化するツーリズム産業における業界動向の理解を目的として、2 年生を対象とした「クローズアップ（ネクストステージ）」、現場の最前線で活躍しているプロフェッショナルな方々から、経験談を踏まえてホスピタリティの本質を語っていただく「ホスピタリティ講座」は多くの企業、関係者に多大なる協力を仰ぎ、今年度も受講者に具体的な行動に移せるような機会創出となりました。

【表7】クローズアップ講師派遣協力機関

科目名	対象	講師派遣協力機関
クローズアップ（業界・企業）	国際観光ビジネス科 1年生	・JTB ・JTBグローバルマーケティング ＆ トラベル ・JTBビジネストランスフォーム ・JTBビジネストラベルソリューションズ ・JTB商事　・西部鉄道、プリンスホテル ・ベネフィット・ワン　・ホテルオークラ東京 ・はとバス　・ひらまつ ・小田急トラベル　・日の丸グループ ・にしけい　・叙々苑
クローズアップ（ネクストステージ）	国際観光ビジネス科 2年生	・JTB ツーリスト事業本部 エリアソリューション事業部 ビジネスソリューション事業本部 グローバル統括本部

【表８】ホスピタリティ講座講師派遣協力機関

科目名	対象	講師派遣協力機関	
ホスピタリティ講 座	国際観光ビジネス科 2年生 国際ホテル＆ブライダル科 1･2年生	JTB代表取締役社長 JTBお客様相談室 JTBデータサービス JTBWEB販売部 明海大学 流通科学大学	グランドニッコー東京台場 ホテル一井 STH JAPAN ベルトラ 日本エコツーリズム協会 フェイスアップ

（6）安心して登校できる学習環境の整備

「新型コロナウィルス感染症　予防ガイドライン」に基づき、少しでも具合の悪い場合は保健師と連携の上、登校を控えるなど健康被害抑止に努めました。

また、ワクチン接種日や接種による発熱等での欠席を公欠扱いとし、ワクチン接種の奨励もいたしました。

コロナ感染症 40 名（昨年度実績比 95.2%）、濃厚接触者 47 名（昨年度実績比 134.3%）となり、今後も政府の方針に従いながら、新しい生活様式での学習環境整備を行ってまいります。

３．進路指導関連

2023 年 3 月卒業者のうち、日本人学生の就職希望者 67 名、留学生就職希望者 11 名、計 78 名が全員採用内定となり、就職内定率 100%（日本人学生は２年連続）を達成しました。

今年度は、各企業の採用スケジュールはマーケットの回復を想定した早いスタートとなりました。対象学生には、幅広いツーリズム産業界研究や自己分析をしっかり行うことを徹底し、自分に最も合致した企業への内定を目標とさせ指導することと、学外説明会・インターンシップへの積極的参加、就職関連サイト・ハローワークの有効活用など学生個々の幅広い進路選択に向けたガイダンスの強化をしてまいりました。企業の選考方法も感染防止を優先したオンライン面接が一般化され、選考動向に合致した実践的な面接指導も繰り返し行ってまいりました。

また、推薦図書の利用促進、図書室の活性化と読解力・思考力等社会人基礎力へ繋げることを目的に、読書レポートの提出を昨年に引き続き義務付けました。スマホ中心の Z 世代である学生にとっては、スマホ利用を読書時間にすることにより、想像力、継続力を養うだけでなく、自身の考えを表現する力を培う機会に繋がりました。

日本人学生、留学生を併せた 87 名の就職内定先及大学編入先は、【表 10】のとおりです。

旅行関連会社への内定者 26 名（全体構成比 33.4%）のうち 96%にあたる 25 名が、JTB グループ会社、及び JTB 総合提携店・パートナー店に内定しております。

空港サービス・警備関係は積極的な企業様からの求人の結果、5 社 16 名、全体構成比 20.5%（昨年実績比＋13.7%）と大幅に増えました。

宿泊・料飲関係は、断続的な求人により、17 社 25 名、全体構成比 32.1%となりました。

大学編入の進路選択者も継続的に希望者がおり、5 年連続の東洋大学国際観光学部 1 名の他、複数の観光系大学に編入予定です。大学編入も就職と同様、選択肢の 1 つとして、強化、支援をしてまいります。そして大学で多様なカリキュラムを習得することで、2 年後、よりツーリズム産業に求められる人材となることを期待します。

なお 41 期生対象の校内企業説明会を 12 月より開始しております。ご協力をいただいた企業様は、【表 9】のとおりでございます。

【表9】校内企業説明会実施状況（2023年3月分まで）

JTB	東京地下鉄
JCBトラベル	帝産観光バス
JTBビジネストラベルソリューションズ	共立メンテナンス
JTBトランスフォーム	ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ
J&Jヒューマンソリューションズ	オリックス・ホテルマネジメント
JTBグローバルアシスタンス	リゾートトラスト（※）
JTB商事	ミリアルリゾートホテルズ
JTBガイアレック	ホテルモントレ
I&Jデジタルイノベーション	ニュー・オータニ
J&Jギフト	ザ・マンハッタン
JR東日本びゅうツーリズム＆セールス	ヒルトン東京
マイタウントラベル	西武・プリンスホテルズワールドワイド
東海旅客鉄道株式会社	シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル
羽田空港サービスグループ	帝国ホテル
JALグランドサービス	ホテルオークラ東京
JALナビア	住友不動産ヴィラフォンテーヌ
JTB協定旅館ホテル連盟合同説明会（12施設） ①加賀屋（※）②ホテル一井（※）③ホテル櫻井④ホテルヴィレッジ ⑤ホテルサンバード⑥ホテルおかだ⑦富士屋ホテル⑧おんやど恵 ⑨喜久多⑩KPG⑪はいむるぶし⑫日光千姫物語（※）	
※オンライン説明会実施	

【表10】2022年度卒業生（第40期生） 就職活動状況及び内定先一覧

	総 数	就職希望者数	内定者数	未内定者	内定率	前年就職者数
日本人学生	72 人	67 人	67 人	0 人	100.0%	144 人
留 学 生	15 人	11 人	11 人	0 人	100.0%	30 人
計	87 人	78 人	78 人	0 人	100.0%	174 人

＊印は
留学生採用企業
★印は
新規採用企業

●JTBグループ企業　構成比 29.5%　← 23.0%

	企 業 名	人数	増減	39期
1	JTB	8	▲ 9	17
2	JTBﾋﾞｼﾞﾈｽﾄﾗﾍﾞﾙｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ	3	▲ 2	5
3	JTBビジネストランスフォーム	2	▲ 2	4
4	JTBグローバルアシスタンス	2	▲ 1	3
5	JCBトラベル	1	± 0	1
6	＊ J&Jヒューマンソリューションズ	3	▲ 2	5
7	JTB商事	3	＋ 3	0
8	I＆Jデジタルイノベーション	1	＋ 1	0
9	その他JTBグループ会社	0	▲ 5	5
	計	23	▲ 17	40

●その他旅行会社　構成比 1.3%　← 4.6%

	企 業 名	人数	増減	39期
1	京成トラベルサービス	1	＋ 1	0
2	その他	0	▲ 8	8
	計	1	▲ 7	8

●JTB総合提携店・ﾊﾟｰﾄﾅｰ店　構成比 2.6%　← 1.7%

	企業名	人数	増減	39期
1	マイタウントラベル	1	± 0	1
2	TDKサービス	1	＋ 1	0
3	その他	0	▲ 2	2
	計	2	▲ 1	3

●運輸関係　構成比 12.8%　← 5.7%

	企 業 名	人数	増減	39期
1	日の丸リムジン	3	＋ 1	2
2	JR東海パッセンジャーズ	2	＋ 2	0
3	JR東日本ステーションサービス	2	＋ 1	1
4	日の丸自動車興業	1	＋ 1	0
5	東京地下鉄	1	± 0	1
6	帝産観光バス	1	▲ 2	3
7	その他	0	▲ 3	3
	計	10	± 0	10

●空港サービス、警備関係　構成比 20.5%　← 6.9%

	企 業 名	人数	増減	39期
1	羽田空港サービスグループ	6	＋ 2	4
2	JALグランドサービス	5	＋ 5	0
3	JALスカイ	2	＋ 2	0
4	にしけい	2	▲ 3	5
5	JALナビア	1	＋ 1	0
6	その他	0	▲ 3	3
	計	16	＋ 4	12

●宿泊・料飲関係　構成比 32.1%　← 46.0%

	施設名（企業名）	人数	増減	39期
1	新宿東急ホテルズ ★	3	＋ 3	0
2	プリンスホテル	3	＋ 1	2
3	＊ ホテルオークラ東京	2	＋ 2	0
4	＊ ヒルトン東京	2	＋ 2	0
5	＊ 共立メンテナンス	2	＋ 1	1
6	＊ KPGホテル＆リゾート	2	▲ 1	3
7	セルリアンタワー東急ホテル	1	＋ 1	0
8	ANAインターコンチネンタルホテル東京	1	＋ 1	0
9	富士屋ホテル	1	＋ 1	0
10	都ホテルズ	1	＋ 1	0
11	＊ 京王プラザホテル	1	＋ 1	0
12	＊ グランベルホテル ★	1	＋ 1	0
13	＊ 京王プレッソイン	1	＋ 1	0
14	＊ 住友不動産ヴィラフォンテーヌ	1	± 0	1
15	日本ホテル	1	± 0	1
16	シェラトングランデトーキョーベイ	1	▲ 1	2
17	ミリアルリゾートホテル	1	▲ 1	2
18	その他	0	▲ 68	68
	計	25	▲ 55	80

●その他　構成比 1.3%　← 12.1%

	企 業 名	人数	増減	39期
1	オーケー	1	± 0	1
2	その他	0	▲ 20	20
	一般企業就職者 計	1	▲ 20	21

●大学編入

	企 業 名	人数	増減	39期
1	東洋大学　国際観光学部	1	▲ 2	3
2	＊ 桜美林大学　ビジネスマネジメント学群（２年編入）	1	＋ 1	0
3	江戸川大学　社会学部	1	± 0	1
4	＊ 駒沢女子大学　人間総合学群	1	＋ 1	0
5	その他	0	▲ 7	7
	計	4	▲ 7	11

第40期生 就職内定者計	78 名

４．学生募集関連

コロナ感染発症３か年でツーリズム産業との接点の薄れ、大学全入時代到来など外部環境が厳しさを増し、受験生・保護者の関心度を高める学生募集活動の拡充が喫緊の課題と捉え行ってまいりましたが、結果は予測以上に困難をきたしました。

2023 年度の入学者は【表 11】のとおり 28 名（前年比 63.6%）と大幅な定員割れをすることになり、うち日本人学生は 24 名（同 70.5%）、留学生は４名（同 40.0%）となりました。

入国制限の影響で、日本語学校在籍者が減少し、さらにツーリズム産業に対する不安感もあり、留学生単独クラスの運営は困難と判断し、期中で訪日科クラスの募集は停止、合同クラスのみ募集を継続いたしました。

【表11】入学者数の推移

入学年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
観光科	21	20	82	139	163	148	155
(ウチGIコース)	(1)	(3)	(11)	(29)	–	–	–
(ウチ留学生)	(3)	(1)	(3)	(1)	(6)	(11)	(15)
ホテル科	4	11	4	27	25	23	27
(ウチ留学生)	(1)	(3)	(1)	(5)	(3)	(6)	(5)
訪日科	0	6	12	43	47	45	43
(ウチ留学生)	(0)	(6)	(12)	(43)	(47)	(45)	(43)
夜間部	3	7	0	15	20	20	34
(ウチ留学生)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
合計	28	44	98	224	255	236	259
(ウチ留学生)	(4)	(10)	(16)	(49)	(56)	(62)	(63)
前年比	63.6%	44.9%	43.8%	87.8%	108.1%	91.1%	97.7%

日本人学生	23	34	82	175	199	174	196
前年比	67.6%	41.5%	46.9%	87.9%	114.4%	88.8%	101.6%

(1) 広報展開について

高校生に最も影響力の高い SNS（Twitter、LINE、Instagram）をホームページや進学情報誌への広告展開より最優先し、広報宣伝を強化しました。動画や在校生の登場回数などの投稿数を拡充し、フォロワー数拡大に努めてまいりました。

【表 12】のとおり、資料請求数 5,519 件(前年比 75.7%)、ホームページの総ユーザー数 49,209 人(同 77.3%)、スマートフォンも 27,103 人(同 82.8%)と大幅にユーザー数が落ち込みました。しかしながら、一昨年度に発信を始めた Instagram においては、【表 13】のとおりフォロワー数が昨年度末 1,640 名登録に対して、2,074 名と約 1.3 倍に増加しております。

また当校の特に関心が高いと思われる就職内定状況や特徴ある授業掲載などをホームページ上にてリバイスしながら情報公開してまいりました。そして、資料請求者に対してメルマガ配信に加え、８月の学生管理基幹システム変更により迅速なメール発信も行いました。１月からは LINE と基幹システムを連動し資料請求者等のコミュニケーションフォローツールとして始動いたしました。

大手広告 WEB 媒体にて他の観光系専門学校・大学のオープンキャンパス予約画面や資料請求画面に当校のバナーを表示させる企画や、１月からは Google や Instagram 広告を実施するなど、デジタル広報を加重してまいりました。今後は計画

的な情報発信、外部委託による定期発信を実行し、高校生に魅力ある内容を迅速に届けられる体制を強化してまいります。

【表12】広報・説明会等の実施状況

対象	内　容		2022年度 実績	2022年度 前年比	2021年度 実績	2021年度 前年比	2020年度 実績
広報	資料請求		5,969件	81.9%	7,288件	104.4%	6,983件
	HP総ユーザ数		58,519人	92.0%	63,629人	89.1%	71,393人
	（ウチ、スマートフォン）		34,107人	(104.2%)	32,718人	(64.1%)	51,021人
説明会（日本人・生徒）	学内開催	延人数	(154人)	(106.2%)	(145人)	(59.9%)	(242人)
		＊ 実人数	80人	87.0%	92人	67.2%	137人
		ウチ、出願数	28人	75.7%	37人	40.7%	91人
		出願率	35.0%	▲ 5.2%	40.2%	▲ 26.2%	66.4%
	学外	実施回数	114回	118.8%	96回	259.5%	37回
		参加者	630人	100.6%	626人	234.5%	267人
留学生	学内個人面談(留学生)		37人	205.6%	18人	30.5%	59人

※ 前年度3月～当年度2月の実績比較、＊ 実人数は、該当年度受験対象者のみ

【表13】SNSフォロワー(友だち)数

	2022年度 実績	2022年度 前年比	2021年度 実績	2021年度 前年比	2020年度 実績
Instagram	2,074人	126.5%	1,640人	155.5%	1,055人
Twitter	1,427人	103.1%	1,384人	107.0%	1,293人
LINE	7,147人	103.6%	6,898人	103.3%	6,675人

(2) 営業活動について

全国の高校約 3,600 校へ学校案内を送付するとともに、入学実績校約 950 校への指定校推薦書の交付やフォローセールスをし、学校説明会への積極的な参加を依頼しましたが、高校の進路担当教員や保護者が抱くツーリズム業界への根深い不安感により苦戦いたしました。

グループ連携においては、①ツーリズム事業本部法人営業チームと連携し、法人営業推進担当者ミーティングにて当校の現状と課題の共有、意見交換を 10 月に実施いたしました。②ＪＴＢ旅ホ連関東支部連合会並びにＢＯＢ会事務局に入学希望者の紹介チラシを昨年度に引き続き、旅ホ連ニュース、会報に同封し発送するというご支援をいただきました。

留学生につきましては、実績のある日本語学校（85 校）に加えて、新規日本語学校へ 38 校への DM・電話フォロー・訪問を実施し、新規マーケット開拓に取り組みました。また日本語学校主催のオンライン説明会に参加することで、多くの学生に当校の魅力を伝える機会をいただきました。入国制限の緩和により日本語学校の在籍数は増加しつつあり、今後新たな有望受験者獲得の手法として各学校に提案してまいりたいと思います。

(3) オープンキャンパス（学校説明会）について

コロナ禍で、修学旅行、家族旅行の実体験が乏しい状況の中、業界の楽しさを実感できる体験プログラムの拡充に努めました。旅行会社、ホテル、バスガイド、添乗員など現場で活躍している卒業生には、体験談に加え実際の業務を見学する機会を提供してもらい、在校生（カレッジサポーター）には、本校の生の雰囲気を味わい、入学後のイメージを実感できるよう、授業で作成した研究成果をプレゼンテーションするなど、来校した生徒との交流の機会を増やしてまいりました。

総合型選抜（ＡＯ）入試制度や特待生入試制度の説明、保護者向けの説明には丁寧に取り組みました。

実施状況については、本校開催の説明会参加者は 154 人(前年比 106.2%)、学外での説明会は 630 人（前年比 100.6%）となりました。

次年度は、リアル体験できる場として説明会を位置づけ、卒業生、在校生の協力を得ながら教職員と共に一体運営をしてまいります。

(4) 入口戦略強化プロジェクト

学生募集担当に講師メンバーを加え、「SNS」「学校営業」「学校説明会」の 3 プロジェクトを発足しました。当校の魅力を再整理するとともに、タイムリーな情報発信、アプローチ手法の改変など見直しを図り、ツーリズム産業での活躍を志す有望な学生の早期確保に努めます。

５．総務・財務関連

(1) 収支バランスの維持と経営基盤の安定化

事業活動収入については、2021 年度より入学者が減少したことにより、大きく減収となりました。事業活動支出については、収支管理を実施しながら、入学者の確保に向けた広報強化に追加支出をしました。また、リスク管理および建物の適切な維持という観点より、前年の東南面に続き、西北面の外壁修繕を実施しました。この結果、事業活動収支差額については 2 億 39 百万円の支出超過となり、昨年度まで繰越収支差額の収入超過が今年度 47 百万円の支出超過に転じました。

基本金につきましては、当年度の固定資産取得が除却額を上回りましたので、14 億 94 百万円となりました。

なお、過去 5 年間を含めた事業活動収支状況、及び基本金の推移は【表 14】のとおりです。

【表14】事業活動収支状況、及び基本金の推移　　［単位：千円］

	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
事業活動収入	177,203	399,982	562,679	551,865	532,387	580,561
事業活動支出	416,894	495,880	564,379	550,837	520,256	573,322
事業活動収支差額	▲ 239,691	▲ 95,897	▲ 1,700	1,027	12,131	7,239
翌年度繰越収支差額	▲ 47,367	198,906	295,805	298,784	303,593	536,022
前年良否	▲246,273	▲96,899	▲2,979	▲4,809	▲232,429	＋7,239
前年対比	＋→▲	67.2%	99.0%	98.4%	56.6%	101.4%

基　本　金	1,494,337	1,487,756	1,486,753	1,485,475	1,479,638	1,235,078
前年度増減	6,581	1,002	1,278	5,837	244,560	0
前年度末対比	100.4%	100.1%	100.1%	100.4%	119.8%	100.0%

（2）設備投資状況

今年度の、学習環境及び職員就業環境の改善に向けた、主な設備投資・補修工事の実施、並びに備品の購入状況は【表 15】になります。

【表15】2022年度 設備投資状況

実施時期	実　施　内　容	予算	実績	記事
2022年05月	災害備品　食品・ジュース	210千円	1,367千円	10年
2022年09月	InfoClipperクラウド　初期導入費	4,344千円	3,355千円	5年
2022年09月	InfoCloud　初期設定費	〃	220千円	5年
2023年01月	自動ドアセンサー交換	―――	85千円	15年
2023年02月	給与WEB照会　初期設定費	―――	110千円	5年
2023年03月	正面玄関防鼠工事	―――	341千円	15年
2023年03月	水道メーター交換工事	1,980千円	1,463千円	15年
2022年度	図書　※図書選定委員会（資産扱）	100千円	48千円	2千円以下は経費処理につき含まず
2022年度計		6,634千円	6,989千円	

（３）学校経営の中長期的安定化を見据えた経営課題への対応

2022 年度学校運営計画“RE-CREATION JTC”における、課題解決に向け、以下のとおりの取組みを行いました。

① JTC リブランディングに向けた取組み

・会議および委員会

ミドルマネジメント層による業務推進会議にて、学校の継続に向けた課題を話し合い、入学者の確保に向けた提言および事業計画の原案作成を行いました。SDGs 関連は、学校として何が取り組めるかの検討を行い、働き方選択肢の拡大、デジタルプラットフォームの活用、JTC コード遵守としてまとめました。次年度に向けては、具体的な実行計画を策定しすすめてまいります。内部統制（コンプライアンス・リスクマネジメント）、安全衛生の委員会についても定期開催し、教職員への目的周知と各自の実行を推進しています。

・同窓会組織運営

卒業生情報のアップデート、ネットワークの整備を継続実施し、周年事業として40 周年誌をデジタル媒体で発行しました。

また、卒業生による行事へのボランティア協力も開始いたしました。

・寄附金の募集開始

教育施設充実および学校運営資金確保のため、新たに寄附金の募集を開始しました。HP に告知を行い、法人及び個人から幅広く募集を実施しています。

・一般社団法人設立

（株）JTB と共同で教育関連一般社団法人（一般社団法人次世代教育ネットワーキング機構）の設立に向け準備を行いました。一般社団法人として推進する調査研究及び高等学校への教育活動支援の実施に伴い、当校の認知拡大による学生募集や職員の知見の拡大への効果を図ってまいります。

② JTC 事業のデジタル化

・学生管理システム（InfoClipper）

長年使用してきた学生管理システム（InfoClipper）を、募集～入学、教育、卒業～同窓会まで一気通貫で管理ができるクラウドサービスに切替えを行いました。

・在校生サポートシステム（Canbus）

就職活動など双方向でコミュニケーションができる WEB データベースシステムについて刷新（デヂエから Canbus）を行い、今年度の就活から本格稼働させ活用をしています。

５．その他

（1）要員体制について

	常勤教職員・役員						専門講師	合計
	校長(理事)	理 事	教務職員	事務職員	派遣職員	計	(非常勤)	
2022年度期首	1 名	1 名	13 名	11 名	1 名	27 名	36 名	63 名
2022年度期末	1 名	1 名	13 名	11 名	1 名	27 名	36 名	63 名

※ その他、理事長1名(非常勤)、学校医1名(非常勤)、保健師1名(非常勤)

(2) 評議員会・理事会の開催状況について

【理事会】

回	開催日	議案、議事内容
第1回	2022/4/28	1. 評議員の補欠選任に関する件
		2. 議事録署名人の選任に関する件
第2回	2022/5/25	1. 2021年度 事業報告及び決算に関する件
		2. 評議員の補欠選任に関する件
		3. 議事録署名人の選任に関する件
第3回	2022/6/7	1. 評議員の補欠選任に関する件
		2. 監事の補欠選任に関する件
		3. 議事録署名人の選任に関する件
第4回	2022/6/22	1. 理事の補欠選任に関する件
		2. 議事録署名人の選任に関する件
第5回	2022/6/22	1. 理事長の選任に関する件
		2. 議事録署名人の選任に関する件
第6回	2022/7/28	1. 評議員の補欠選任に関する件
		2. 議事録署名人の選任に関する件
第7回	2022/11/30	1. 2022年度 上期学校運営概況に関する件
		2. 学則の一部変更に関する件
		3. 空調設備の改修に関する件
		4. 議事録署名人の選任に関する件
第8回	2023/2/15	1. 寄付金の募集に関する件
		2. 議事録署名人の選任に関する件
第9回	2023/3/15	1. 任期満了に伴う役員・評議員の改選に関する件
		2. 議事録署名人の選任に関する件
第10回	2023/3/22	1. 2022年度 学校運営概況に関する件
		2. 2022年度 予算改定に関する件
		3. 2023年度 学校運営計画及び予算案に関する件
		4. 学校名の変更に関する件
		5. 議事録署名人の選任に関する件
		6. 理事長の選任に関する件
		7. 常務理事の選任に関する件
		8. 理事長に事故あるとき、または理事長が欠けた時における職務代行順位の件
		9. 議事録署名人の選任に関する件

【評議員会】

回	開催日	議案、議事内容
第1回	2022/5/25	1. 2021年度 事業報告及び決算に関する件【報告事項】
		2. 評議員の補欠選任に関する件【決議事項】
		3. 議事録署名人の選任に関する件【決議事項】
第2回	2022/6/14	1. 監事の補欠選任に関する件【決議事項】
		2. 議事録署名人の選任に関する件【決議事項】
第3回	2023/2/1	1. 寄附金の募集に関する件【諮問事項】
		2. 議事録署名人の選任に関する件【決議事項】
第4回	2023/3/22	1. 2022年度 学校運営概況に関する件【報告事項】
		2. 2022年度 予算改定に関する件【諮問事項】
		3. 2023年度 学校運営計画及び予算案に関する件【諮問事項】
		4. 学校名の変更に関する件【諮問事項】
		5. 任期満了に伴う役員・評議員の改選に関する件【決議事項】
		6. 議事録署名人の選任に関する件【決議事項】

なお、2023 年度につきましては、

理事会　･･･　5 月 24 日（水）、11 月 22 日（水）、2024 年 3 月 27 日（水）

評議員会･･･　5 月 24 日（水）、2024 年 3 月 27 日（水）

に開催を予定しております。